



落ち葉堆肥と生ごみ堆肥

「落ち葉堆肥とは」

広葉樹の中でも、ケヤキ、コナラ、クヌギなどが堆肥材料に適しています。落ち葉堆肥とは、落ち葉に米ぬか、油かす、骨粉などの有機質肥料を加えて発酵させた物で、肥料分を含んだ堆肥になります。

「落ち葉堆肥の作り方」

(1) 壁を利用したり、ベニヤ板でコの字形などの囲いで堆積場を作ってもよい。(2) 落ち葉を20cm程度の厚さに積む。米ぬかや油かすなど(落ち葉の重さの1~2%程度)をサンドイッチ状に積み重ね、水をたっぷりまいて踏み固める。(3) これを繰り返して1mくらいに積み上げる。(4) 1カ月に1回程度切り返し、落ち葉がボロボロに崩れてきたら(1年程度)完成です(図1)。

「生ごみ堆肥とは」

有機物である生ごみを微生物の働きで堆肥としてリサイクルすることができれば、ごみの減量に役立つだけでなく、地力を高めることもできます。

生ごみの90%以上は水分で、残りの大部分が有機物です。乾燥させて水分を飛ばすだけで減量し、元の重さの5分の1以下になります。生ごみに米ぬかや油かすなどを加えて発酵させた物が生ごみ堆肥です。

「生ごみ堆肥の作り方」

(1) 釣り鐘形のプラスチック容器(コンポスターなどの名称で販売)やポリバケツ(ふた付き)の底を切り取った容器を、土中20cm程度の深さまで埋める。(2) 水を切った生ごみを投入し、同量の乾いた土や落ち葉を重ねて入れる。容器が満杯になるまで繰り返す。悪臭や虫の発生を抑え、ごみの分解を早めるために、米ぬかをまぶしておく

図1 落ち葉堆肥の作り方

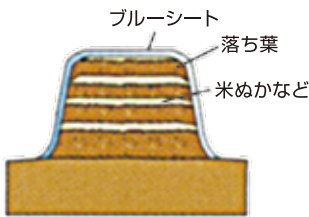
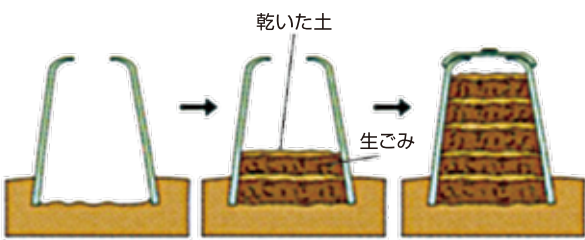


図2 生ごみ堆肥の作り方



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

と良い。

(3) 満杯になった後、1カ月以上放置しておく。一般家庭では、200L程度の容器を2個使い、1個目が満杯になったら2個目に生ごみの投入を始めれば、ほぼ年間を通して生ごみの処理と堆肥作りができる(図2)。

なお、生ごみ堆肥は窒素を5%程度含み、肥料効果が高いため、生ごみ堆肥だけで栽培するときは、1平方m当たり3~4kgにします。

園芸研究家 ● 成松次郎

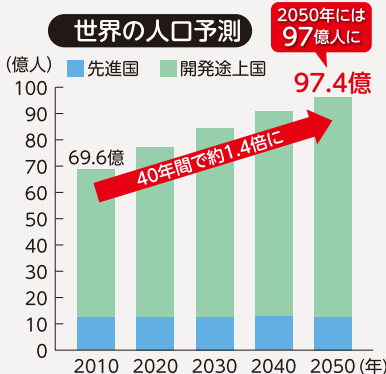
進めよう! 国産消費

「国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する」というJAグループの考え方です。



©よい食P

世界の人口増加…食料は足りるの?

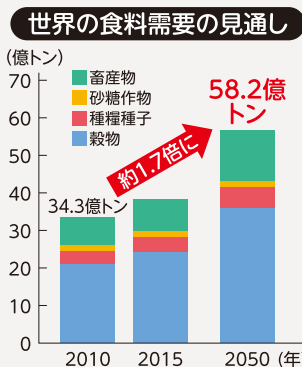


出典: 農林水産省「知ってる?日本の食料事情2020 ~食料自給率・食料自給力と食料安全保障」

日本が国内での生産を増やさずに、食料を海外に依存し続けると、飢餓が深刻な国・地域の食料を奪うおそれがあります。



世界の人口は2020年の統計で約78億人。人口はさらに増え続け、2050年には97億人



出典: 農林水産省

まで増加する見通しです。飢餓問題が解決していない地域で、これ以上人口が増加すると、食料不足や栄養不足がさらに進んでしまうおそれがあります。

また、世界が必要とする食料は2010年から2050年までに約1.7倍に増える予測であり、今後、世界は食料供給の観点で大きなリスクを抱えています。

こうした実態を知り、日本で食料生産を増やせるよう、日本の農業を応援しましょう。

※出典: 国連人口基金「世界人口白書2020」